**日本語タイトル （明朝体 12pt、太字、中央寄せ）**

**英語タイトル（Times12pt、太字、中央寄せ）**

一行あける

提出者：森谷健二(Kenji Moriya)、班員：森谷健一、森谷健三、森谷健四郎、森谷五郎

実験日：2016年6月○日、報告書提出日：2016年△月×日（曜日）

一行あける

 Abstract:AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA

英語はTimes New Roman体、10.5pt、行間16pt固定。両端のインデントはこのままで変更しないこと。本文を英語で書く学生は要旨を日本語にしてください

一行あける

KEYWORDS：報告のキーワードを3個以上

**1. 目的（見出しは12pt、太字）**

 ･････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････　　この先、本文の行間は常に「１行」･････････････････････････････････････

･･････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････

 章の間は一行あける

**2. 実習手順**

････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････

文献リファレンスは「~については○○法によって解析した【1】。」のようにカッコだけでよい。

･･････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････



**図１.**函館高専の校章。図の説明文は図の下に書き、MS明朝10.5pt、行間1行とする。ただし、「図1」の部分は太字とする。通常、テキストボックスの枠線は不要。

**3. 実験結果**

　　計測・解析したデータのどの部分を報告するのかは個々人で異なります。どのようなタスクを行ったかで結果のも異なるし、信号処理パートではピーク検出を行ったか成分文s根気を行ったかで結果の書き方も変わってきます。各自、自分の解析した結果をのせてください。

　　当たり前ですが、ここは結果です。データはどうであって、解析の結果どんな結果が得られたのかという事実だけを述べます。その考察はこの後の考察で行います

注意！！(コメント参照)

**4.考察**

**表１.**○○に関する平均値。表の説明は同じくMS明朝10.5pt、行間1行、「**表○**」は太字とするが、表内での文字の位置は自由。表内の文字の大きさも自由。一般的に表の罫線はすべて必要としない。図は図、表は表で通し番号。この辺は今まで習った論文ルール(理系ライティングルール)のままです

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ABC | DEF |
| 123 | ±6 | ±5 |
| 456 | ±5 | ±150 |

　結果について追加で述べること、結果が生じた理由などを書いてください。また、最後の段落には目的に対してどのような結論が得られたのか書いてください。計測、解析のどちらに対しても「この部分をこうすればよかった」という提言や反省は歓迎しますが、感想は不要です。「結果と考察」としてまとめることもOKです。

**【参考文献および参考図書】**

Wikiは参考URLではありません。通常、文献とは公になった紀要を含めた論文や学会発表要旨を指します。皆さんの場合は参考図書や参考URLになるかと思いますが、URLはいつまでも存在しないのでできる限り避けてください。どうしても参考URLとする場合は、「タイトル、URL（2016年１月１日現在）」など最終確認日を入れます。

その他

　・段組みをしたい学生は自由です。２段組みまでです。

　・レポートの枚数は３-６枚です。これを下回っても上回っても減点対象となります。

・写真やグラフの大きさは一般的に論文で用いられるサイズです。１グラフで１枚を使うようなことはあり得ませんので気を付けてください。

　・グラフや写真は「テキストボックス」を作成してそこの張り付けることを推奨します(このファイルがそうしています、参考にしてください)。文字の折り返しは必要に応じて調整してください。通常、テキストボックスの枠線は不要です。

・「研究室でテフを使っているからテフをつかいたい！」という学生はもちろんテフでもよいですが、その場合は最終的にPDFで提出してください。

・その他、疑問点は気軽に質問してください。建設的な提案は大体の場合は許可します。